

## 第10節 計画目標の進捗状況と評価

### 1. 管理指標と評価

環境基本計画において、各環境分野の目標として、将来を展望した長期目標と計画の対象期間である10年間の目標（目標年度：25年度）である計画期間目標を示しています。

管理指標とは、この計画期間目標の達成状況を表すものです。

評価の方法は、環境分野の項目ごとに定めた評価基準に基づいて評価し、その結果を○・△・×の3段階で表しました。

この評価結果から、本市の環境がどれだけ改善されたかを知ることができます。

なお、管理指標の詳細な内容については、データ集をご覧ください。

### 2. 主な進捗状況

#### (1) 水質汚濁の防止

河川の水質については、全測定地点で目標値を達成しています。

項目	内訳	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
河川のBOD値(75% 値)単位:mg/l	浅川(中央道北浅川橋)など5地点	2	0.8~1.6	0.7~1.2	○	目標値以下:○
	谷地川(下田橋下)など4地点	3	1.0~1.5	0.8~1.2	○	目標値を超える:×

#### (2) 大気汚染の防止

大気については全測定地点で目標値を達成しています。

項目	内訳	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
二酸化窒素の環境基準 達成状況 単位:ppm	片倉町など7地点	0.04 ~ 0.06	0.022 ~ 0.040	0.020 ~ 0.040	○	① 0.06以下:○ ② 0.06超えて前年未満:○ ③ 0.06超えて前年度と等しい:△ ④ ①②③以外:×
浮遊粒子状物質の環境 基準達成状況 単位:mg/m <sup>3</sup>	片倉町など6地点	0.1	0.040 ~ 0.045	0.038 ~ 0.050	○	① 0.1以下:○ ② 0.1超えて前年未満:○ ③ 0.1超えて前年度と等しい:△ ④ ①②③以外:×

### (3) 騒音・振動の防止

騒音・振動については、2地点を除いて目標値を達成しています。

項目	内訳	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
道路交通騒音の 要請限度達成状況 (昼間) 単位:デシベル	国道16号(東京環状)など24地点	75	65~73	65~72	○	① 要請限度以下:○ ② 要請限度を超えて前年未満:○ ③ 要請限度を超えて前年度と等しい:△ ④ ①②③以外:×
道路交通騒音の 要請限度達成状況 (夜間) 単位:デシベル	国道16号(東京環状)など22地点	70	59~70	59~73	×	① 要請限度以下:○ ② 要請限度を超えて前年未満:○ ③ 要請限度を超えて前年度と等しい:△ ④ ①②③以外:×
	国道16号(バイパス)	70	72	72	△	
道路交通振動の 要請限度達成状況 (昼間) 単位:デシベル	国道16号(東京環状)など18地点	65	19~53	21~51	○	① 要請限度以下:○ ② 要請限度を超えて前年未満:○ ③ 要請限度を超えて前年度と等しい:△ ④ ①②③以外:×
	国道16号(東京環状)など6地点	70	33~45	31~45	○	
道路交通振動の 要請限度達成状況 (夜間) 単位:デシベル	国道16号(東京環状)など18地点	60	14~50	15~50	○	① 要請限度以下:○ ② 要請限度を超えて前年未満:○ ③ 要請限度を超えて前年度と等しい:△ ④ ①②③以外:×
	国道16号(東京環状)など6地点	65	28~44	28~45	○	

### (4) 有害化学物質の適正管理

有害大気汚染物質及び地下水の環境基準達成状況については、全測定地点で目標値を達成しています。

項目	内訳	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
有害大気汚染物質の 環境基準達成状況 単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$	ベンゼン(片倉・大楽寺)	3.0	1.3	1.2	○	① 基準値以下:○ ② 基準値を超えて前年未満:○ ③ 基準値を超えて前年度と等しい:△ ④ ①②③以外:×
	トリクロロエチレン (片倉・大楽寺)	200.0	0.60~0.75	0.96~1.0	○	
	テトラクロロエチレン (片倉・大楽寺)	200.0	0.18~0.23	0.23~0.29	○	
	ジクロロメタン(片倉・大楽寺)	150.0	1.5~1.6	1.7~2.0	○	

### (5) その他の生活環境の保全

生活環境における苦情については、全体的に増加傾向にあります。

項目	内訳	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
悪臭、電波障害、水路、 空閑地、残土等の苦情 件数 単位:件	悪臭(保全課)	-	48	181	×	減:○、変動なし:△、増:×
	電波障害(保全課)	-	5	5	△	減:○、変動なし:△、増:×
	水路(水環境整備課)	-	198	300	×	減:○、変動なし:△、増:×
	空閑地(保全課)	-	143	210	×	減:○、変動なし:△、増:×
	残土(開発指導課)	-	5	10	×	減:○、変動なし:△、増:×

(6) みどりの保全・活用

市が斜面緑地保全区域として指定している緑地面積は減少しています。

項目	内訳	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
市が緑地保護地区として指定している緑地面積単位:ha	緑地保護地区面積	-	5.3	5.3	△	前年比増:○、増減なし:△、減:×
	斜面緑地保全区域面積	-	34.4	33.6	×	前年比増:○、増減なし:△、減:×

(7) 都市の美観の保持

「都市の美観に係る不快さ」を感じる市民の割合は前年度より増加していますが、放置自転車等の数は減少しています。違法看板数は基準値を達成しています。

項目	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
市政世論調査による「放置自転車等、ペットの糞、ごみのポイ捨て、落書き、違法看板やはみ出し営業などで不快」と感じる市民の割合 単位:%	35.0	45.9	46.4	×	H25年度目標 達成:○ 未達成:×
放置自転車等の数 単位:台	5,000	1,194	956	○	前年比減:○、変動なし:△、増:×
違法看板数 単位:枚	-	25,902	17,755	○	捨て看板防止条例施行年度を基準の計数(15年度 32,000枚)とし、すう勢比率(%)が100未満であれば○、以上であれば×とする。

(8) 地球温暖化の防止

項目	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
家庭における市民1人1日あたりのCO2排出量 単位:kg-CO2/人・日 ※()内の値は当該年度時の電力の排出係数を用いて計上	2.6	3.48	3.29 (3.81)	×	前年比-0.5以上減:○ -0.5未満:×

※東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故の影響から、電力の排出係数が大幅に増加することでCO<sub>2</sub>排出量が増加し、市民の省エネの取り組みの成果がわかりにくくなってしまったため、H23年度以降についてはH22年度時の電力の排出係数を用いて値を計上する。

(9) ごみの減量と資源物の循環利用

可燃・不燃ごみの1人1日あたりの収集量については、前年度と比較して減少しています。

項目	目標値 (H28年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
可燃・不燃ごみ1人1日あたりの収集量 単位:g/人・日	360	450	444	○	前年比減:○、変動なし:△、増:×

(10) 環境教育・環境学習の推進

環境学習室「エコひろば」の利用者については、目標を上回り、増加しています。

項目	内訳	目標値 (H25年度)	H22値	H23値	評価	評価基準
環境学習施設利用者数 単位:人	エコひろば利用者数	2,000	17,209	19,678	○	前年比増:○、変動なし:△、減:×